

ダンス公演 企画書

吉祥寺シアター PRESENTS

ダンス・ショーケース

吉祥寺ダンスリライト vol.4

総合ディレクター：北尾亘(Baobab)

2024年9月

主催・企画製作：武蔵野市立吉祥寺シアター

(指定管理者：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団)

●本企画に関してのお問い合わせ先●

平素より大変お世話になっております。

本企画に関してのお問い合わせは、下記連絡先までお気軽にご連絡いただけますと幸いです。

吉祥寺シアター(担当：溝上 愛梨)

E-mail: mizoue-airi@musashino.or.jp

Tel: 0422-22-0911(9:00～22:00) Fax: 0422-22-0977



1. はじめに——本企画について

吉祥寺シアターでは日本のコンテンポラリーダンス・シーンの更なる活性化を目指して、2019年度より新たなダンス・ショーケース型公演『吉祥寺ダンスリライト』を始動しました。総合ディレクターにはBaobab主宰で振付家・ダンサーとして幅広く活躍する北尾亘氏を迎え、本ショーケース全体の芸術面のコンセプト設計やそれを元にした出演団体の選出を担います。

若手と言われるアーティストが常に問われているのは、未来に向けてどのように現在のシーンを更新していけるのか、であると考えます。公演タイトルの「リライト」は、「**現在を上書きしようと試みる新たな表現**」を、このショーケースが提示するという意思表示です。

派手にショーアップするのではなく、かといってコンペティションのように受賞や高得点を目指すことを第一義とするのでもなく、このショーケースは、次世代を担う振付家・ダンサーが個々のダンス性を軽やかに、あますことなく披露できる場となることを目指します。

様々な身体性が居並ぶ現在ですが、「踊る身体」こそが基本にあり、ダンスの未来を書き換えていくものと信じ、自立した身体性を提示するショーケースにしたいと考えております。

2. 参加団体セレクションの指針・要件について

本企画の出演団体は、総合ディレクターを務める北尾亘と吉祥寺シアターにより、以下の指針のもとで選出いたしました。

- ・**身体性**… コンテンポラリーダンスの“現在”を踏まえ、未来を書き換えられるような、自立した「踊る身体」を見せることができるか
- ・**空間性**… 吉祥寺シアターの劇場空間を活用し、舞台美術の有無によらず空間演出を行うことができるか
- ・**将来性**… 自身(団体など)の活動を今後意欲的・継続的に発展させ、吉祥寺シアターでの単独公演・自主企画などにも繋げることを視野に入れた活動ができるか

今回のvol.4は「**ダンス鑑賞の裾野を広げる**」ことを見据え、ダンスを日頃から頻繁に鑑賞される方に限らず、ダンス公演を初めて観る方など不特定のお客様に楽しんでもいただける、ダンス公演の魅力を知っていただけるショーケースとすることを目指します。

3. 実施概要について

公演日程： 2025年1月31日(金)～2月2日(日)〈全4ステージ〉
※全6グループを2組に分け、2ステージずつ上演
※各回終了後にアフタートークを開催予定。

会場： 吉祥寺シアター 劇場

4. プロフィール

総合ディレクター

北尾 亘



©大野隆介

振付家、ダンサー、俳優、「Baobab」主宰。

振付家として、舞台作品や映像作品に多数振付を提供。ダンサー・俳優として、近藤良平、杉原邦生、熊谷拓明などの作品に出演。尚美学園大学・桜美林大学・多摩美術大学非常勤講師。ベッシー賞「OUTSTANDING PERFORMER 部門」(2020 年)ノミネートほか、多数受賞。

参加アーティスト

・浅川奏瑛（出演者：榎本結衣、勝村音央、阪田小波、鈴木梨音）



©染宮久樹

ダンサー・振付家

埼玉県越谷市出身。尚美学園大学芸術情報学部舞台表現学科ダンスコース卒業。自主企画や子ども向けWS、高校生への振付指導、野外フェスティバルへの参加など幅広く活動。ヨコハマダンスコレクション 2021-DEC 最優秀新人賞受賞。

・egglife（出演者：4 名予定）



©前谷開

asamicro が主宰を務める egglife。エネルギッシュな群舞と即興に眠る個々の身体性を見つめ、HIPHOP ダンスで得た瞬発力や低重心を活かした振付を行う。

ダンサーの身体の枠や空間との連携を意識し異なるジャンルの作家と共に創作を行う。

・BALA（出演者：3～5 名予定）



浜田純平、池上たっくん、大西彩瑛、村井玲美、堀川千夏、青柳潤による 6 人のダンスカンパニー。

多種多様なバックグラウンドを持ち合わせたバラエティ豊かな表現方法で今を生きる自分たちの年代と社会が結びつく活動を目指す。

トップを作らず、振付・演出を全員で行うのが特徴。

・宮悠介（出演者：風間宥利、横濱さくら、宮悠介）



©Shoya Fukunaga

1998 年生まれ。身体表現者。筑波大学、大学院修了。ダンサーとして鈴木ユキオ「堆積」シビウ国際演劇祭に参加。振付家として自己の実体験を基に自作自演で踊る作品を創作。地元新潟で町おこしを行う弟と AIR 画策中。YDC コンペ II 最優秀新人賞受賞。

・Baobab

（出演者：米田沙織 伊藤まこと シュミッツ茂仁香 アラキミユ 上松萌子 北尾亘(以上、Baobab) 植田崇幸 岡本優(TABATHA)）



©大洞博靖

主宰北尾亘が全作品の振付・構成・演出を行う。土着的でリズムカルな振付を用いた圧倒的な群舞が特徴。過去 15 回の単独公演のほか、国内外の様々なフェスティバルに参加。

2016 年より隔年でダンスフェスティバル「DANCE×Scrum!!!」を開催。ダンス界の活性化を目指す企画運営も行なっている。

・Von・no ズ（一般公募若手ダンサー出演作品/振付・構成・演出）



©齋藤優作

ら、身体の可能性を探り続けている。2025・2026 年度公共ホール現代ダンス活性化事業登録アーティスト。

上村有紀と久保佳絵によるコンテンポラリーダンスカンパニー。ダンスは動作による芸術であるという考えのもと、創作活動を行う。抽象化したもの・具体的なものを混在させ、定義を限定しない作品に仕上げる。それぞれにクラシックバレエの経験があり、動きのベースとなっている。国内外で作品の上演を行うほか、近年はコラボレーションも多く行う。また、世代間交流を目的とした異世代へ向けたダンスワークショップや作品創作を行いなが

5. 吉祥寺シアターとは



武蔵野市が芸術文化の振興を図るため、舞台芸術の創造、普及および発信の拠点として建設して以来、舞台芸術鑑賞や活動の場として、市民の方々をはじめ多くの皆様にご利用いただいている。吉祥寺駅北口から徒歩約 5 分の場所にあり、劇場とけいこ場が併設された施設。

家族で舞台芸術に触れていただくことを目的とした吉祥寺ファミリーシアターを始めとして、歴史ある劇団から若手劇団、コンテンポラリーダンスなど幅広いラインナップを上演している。